

No.17 2018.8.4



一般社団法人 新潟県臨床検査技師会 下越支部

○研修会報告

平成30年度 第1回下越支部研修会

日時：8月4日（土） 14:00～17:00

会場：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

講演：①夜間当直者と若手検査技師のための凝固検査の知っておきたい基礎知識

講師：積水メディカル株式会社 学術・技術担当 須長 宏行 先生

②日当直でも怖くない！「尿定性検査、沈渣編」

講師：アークレイマーケティング株式会社 学術推進チーム 片瀬 優子 先生

○研修会

①夜間当直者と若手検査技師のための凝固検査の知っておきたい基礎知識

冒頭に、凝固線溶検査の基礎知識について説明がありました。凝固反応に必要な3要素、採血管に用いられる抗凝固剤の種類、凝固因子、凝固の各検査項目について分かりやすく解説してもらいました。続いて、検査異常値の対応法については、各凝固項目のパニック値に対する対応をフローチャートにまとめており、当直時に大変参考になる内容でした。当直時に臨床側から異常値に関する問い合わせがくることもあると思います。患者様の病態、治療薬の把握と生化学検査所見から推察し、異常値の原因が病態、治療、装置・試薬、採血のどれに起因するものなのか見極め、迅速に対応することが重要だと再認識しました。他にも、直接経口凝固薬(DOAC)の基礎知識やDICの基準についてもお話があり、幅広く凝固検査、そして治療薬に関して勉強させていただきました。後半には、凝固採血管の取り扱いのお話もあり、採血量や転倒混和など当たり前のことですが、検査技師だけではなく、採血に携わる他の医療職種にも、周知・徹底を促していく必要があると思いました。



②日当直でも怖くない！「尿定性検査、沈渣編」

尿試験紙の取り扱い、そして、尿定性検査の各検査項目、測定原理、沈渣項目の順に説明がありました。尿定性の各項目では、沈渣所見との乖離が起こる原因が簡潔にまとめられており、偽陽性、偽陰性が発生する理由を理解することができました。沈渣については、各沈渣項目の特徴や病的意義をスライド写真を基に説明いただきました。また、尿沈渣分析装置と鏡検の乖離のお話もあり、これから検査の自動化が進むことは、必ずしも良い事ばかりとは限らず、実際に目で見る作業は改めて大切であると感じました。講義内容も、まじめなお話の中にも、先生の自己紹介や趣味紹介のお話があったりと、尿定性、沈渣の基礎について楽しく学べ、すぐに当直時の検査に活かせる内容でした。

今回の研修は、どちらも当直時に役立つ内容のものでした。新年度が始まり、転勤者や新人が入ってきたりと、検査室の環境も大きく変わったと思います。日頃担当している方には、業務を見直すきっかけに、まだ当直に慣れていない方には、すぐに活かしていただける研修内容だったと思います。

ご多忙の中、講師を快く引き受けてくださいました須長先生、片瀬先生に対しまして、下越支部役員一同深く感謝申し上げます。



○次回研修会のご案内

平成30年度 第2回下越支部研修会

日時：12月1日（土） 14:00～16:30（予定）

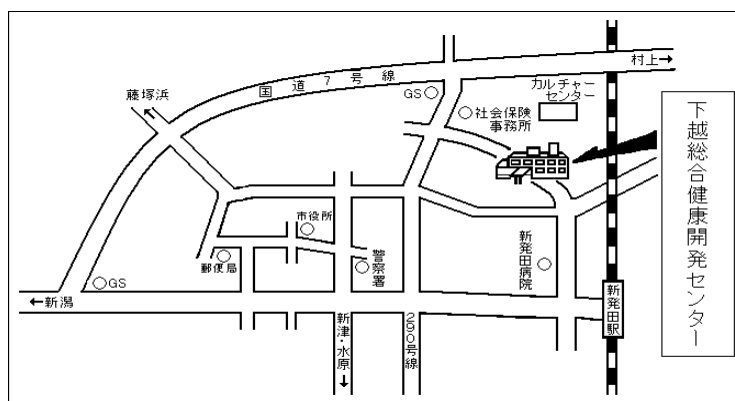
会場：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

新発田市本町 4-16-83（新発田駅から徒歩7分）

内容：詳細未定

参加費：無料

※後日、改めてご案内をさせていただきます。



（新発田駅から徒歩7分）